

令和3～5年度 「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」

# 長江中学校区 プレゼンテーション資料

# 長江中学校区 (小学校2校・中学校1校)



長江小学校  
児童数133名



土堂小学校  
児童数170名



長江中学校  
生徒数202名

# 研究報告

1. 長江中学校区の研究主題と取組
2. 研究の成果
3. 今後に向けて

# 1. 長江中学校区の研究主題と取組

## <長江中学校区 研究主題>

「答えのない問い」に果敢に挑戦し、他者と協働して  
自分たちなりの価値ある答えを見出す探究的な学習の創造

# < 3年間の研究内容 >

## 令和3年度（研究1年目）

- 育成したい資質・能力の整理と評価方法の確立
- 9年間を見据えた生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの研究
- OSDGsとPBLの視点を入れた探究的な単元開発・授業づくり

## 令和4年度（研究2年目）

- PBLの視点を入れた単元開発
- 各単元における評価基準の整理、精選
- 9年間を見据えた生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの整理・作成

## 令和5年度（研究3年目）

- 9年間の関連を意識したカリキュラムの活用と更新
- 資質・能力の評価の在り方の確立  
（ルーブリックの活用と教師によるフィードバック場面の明確化）
- PBLの考え方を参考にした単元開発および実践

# < 3年間の研究を通しての具体的実践 >

## 実践Ⅰ

「長江中学校区で共通して育成したい資質・能力」の共有

## 実践Ⅱ

「児童生徒が自己の変容を自覚するためのルーブリック」  
の活用

## 実践Ⅲ

「長江中学校区 生活科・総合的な学習の時間  
カリキュラムレコード」の活用

## 実践Ⅳ

「長江中学校区PBLを意識した単元開発のポイント」  
の整理と共有

## 実践Ⅰ 「長江中学校区で共通して育成したい資質・能力」の共有

中学校区的全教職員で、3校の児童生徒の実態や9年間のゴールを共有

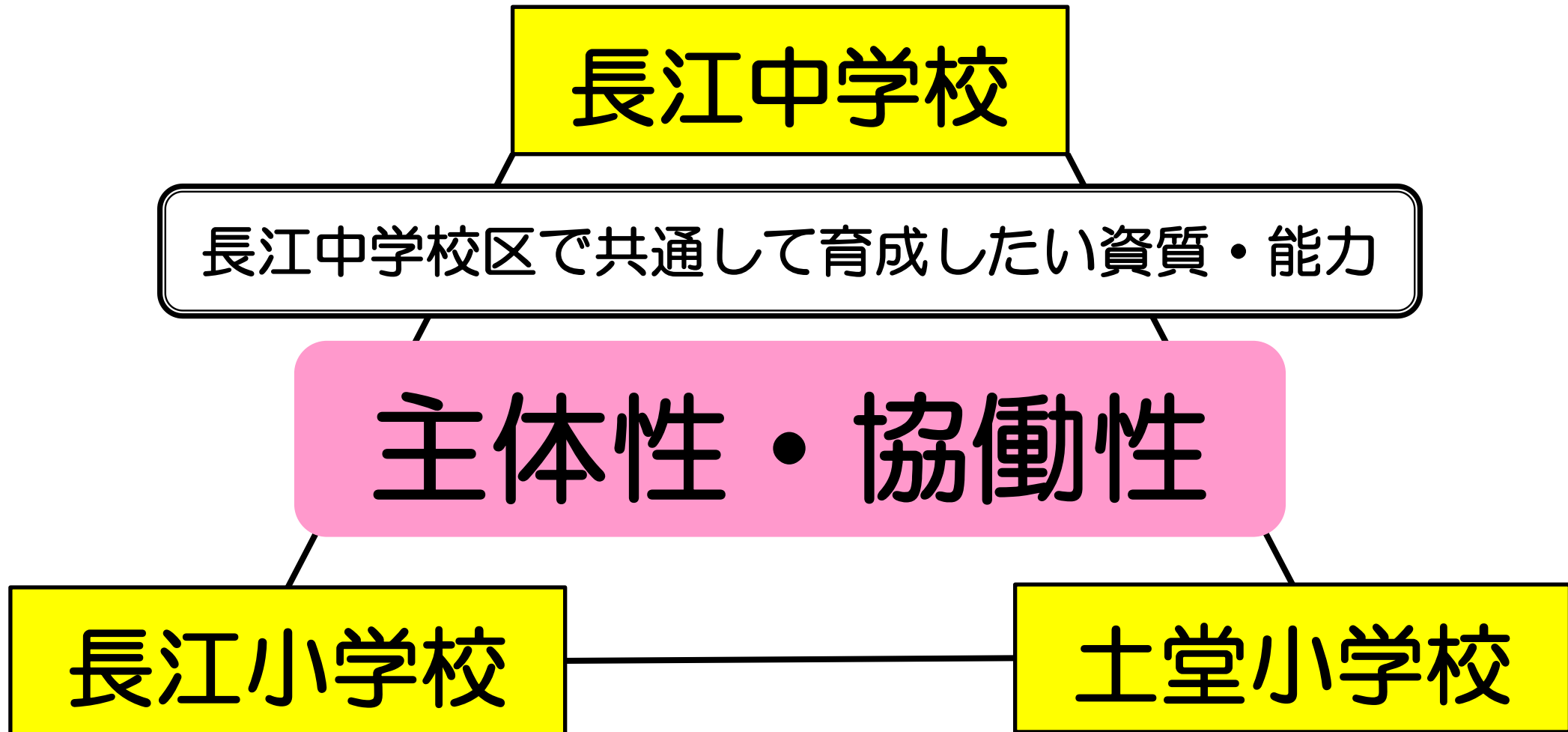
### 9年間のゴール（中学校3年生で育成を目指す姿）

「答えのない問い（答えが1つではない問い）  
に対して、一人一人の生徒が、複数の視点から  
解を導き出し、それを交流する。そのとき、  
他者の解とすりあわせながら、そのとき考え  
られる最適な解を導き出せる。」



# 実践Ⅰ 「長江中学校区で共通して育成したい資質・能力」の共有

児童生徒の実態や9年間のゴール（中学校3年生で育成を目指す姿）をもとに、3校で共通して育成したい資質・能力を決定



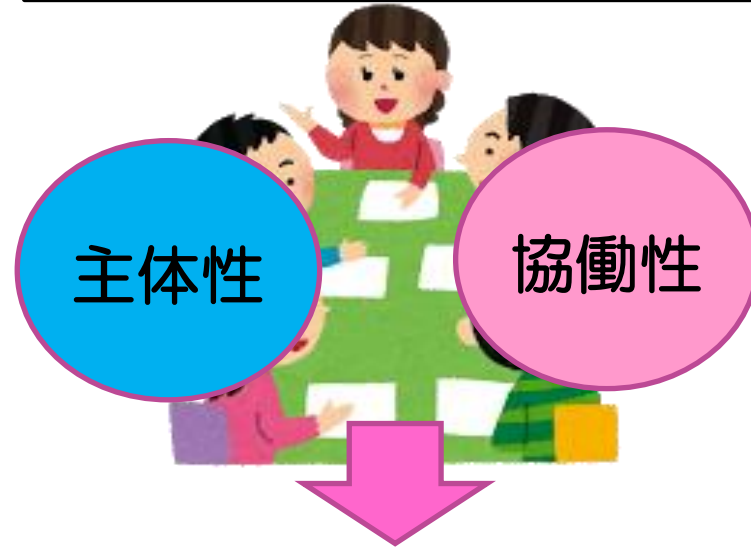
# 実践Ⅰ 「長江中学校区で共通して育成したい資質・能力」の共有

教職員で共通理解がもてるように資質・能力（主体性・協働性）の発揮された具体的な姿まで共有

長江小学校

長江中学校

土堂小学校



長江中学校区で考える  
主体性・協働性

# 実践Ⅰ 「長江中学校校区で共通して育成したい資質・能力」の共有

## 教職員で共有した主体性・協働性の発揮された姿

主体性	協働性
<p>自ら学ぼうと・求めようと・解決しようとし、自分なりの（その時の）最適解をもっている。</p> <p>自ら課題を見付けたり、解決方法を粘り強く考えたりしている。</p> <p>自分で目標・課題を設定し、それに対して方略を考え出せている。</p>	<p>協働的な活動を通して、求められているゴールに対して最適解を導き出せている。</p> <p>友達の意見を受け止めながら、見付けた課題の様々な解決方法を考えている。</p> <p>他者の行動をよく観察し、まねるべき点を取り出してまねている。</p>

# 実践Ⅱ 「児童生徒が自己の変容を自覚するためのルーブリック」の活用

教職員で共有した主体性・協働性の発揮された姿をもとに、形成的評価（授業者の授業改善、学習者の学習改善）につなげるためのルーブリック（評価基準表）を児童生徒と作成

## 実際に児童生徒と作成したルーブリックの一例

資質・能力		評価	
		B	A
小学校 第6学年 「BKG（防災・交通安全・ ゴミ問題）意識変革 プロジェクト ～ぼくたちわたしたちに 今できること～」	主体性	・ 知りたいことや疑問、課題を見つけようとしている。 ・ 課題を解決するための方法を考えようとしている。 ・ 友達と自分の考えを比べ、自分の考えをよりよいものにしようとしている。	・ 粘り強く課題を見つけようとしている。 ・ 粘り強く課題を解決するための方法を考えようとしている。 ・ 友達や自分の考えのよさを生かし、課題を解決するために納得できる答えを見つけようとしている。
	協働性		

# 実践Ⅱ 「児童生徒が自己の変容を自覚するためのループリック」の活用

自己の変容を見返すことができるようにループリックを載せた「振り返りシート」を振り返り場面で活用し、蓄積していく。

総合的な学習の時間ふりかえりシート

4年1組( )番 名前( )

	B	A
主体性・協働性 自分から学ぼうとする心・かかわって新たな考えを作ろうとする心	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道のみりよくを発信するために、自分で課題を見付けることができた。</li> <li>・課題を解決するための方法を考え、取り組むことができた。</li> <li>・尾道のみりよくを発信するために、友達工夫を見付けることができた。</li> <li>・友達の工夫しているところを参考にして、内容や方法を付け加えたり、手直しをしたりすることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・尾道のみりよくを発信するために、自分で課題を見付けることができた。</li> <li>・課題を解決するための方法を考え、自身の課題解決のためにより良いものを選んで取り組むことができた。</li> <li>・尾道のみりよくを発信するために、友達の工夫を見付け、コツなどを聞き取ろうとすることができた。</li> <li>・友達の工夫しているところの中から自身の発表にふさわしい工夫を参考にして、内容や方法を付け加えたり、手直しをしたりすることができた。</li> </ul>

+

日付	自己評価 (A・B・C)	ふりかえり

# 実践Ⅱ 「児童生徒が自己の変容を自覚するためのルーブリック」の活用

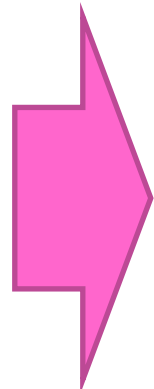
振り返りの内容を学習場面を再設定したり、学習計画を見直したりすることに活用

2 ～尾道をよりよいまちにする!!～

<b>情報収集</b> 尾道の課題を調べる	<b>整理分析</b> 調べた解決策をまとめる
<b>課題の設定</b> 調べた課題をまとめる 課題を設定する!	どのようなことをするか考える
<b>情報収集</b> 調べた課題の解決策を調べる!	<b>まとめ</b> 考えたことを実行
	<b>ふりかえり</b> 結果を共有する

2022/10/21

単元導入時に児童が考えた計画



**情報収集**  
尾道の課題って何だろう? → 様々な立場の人の考えを知りたい  
尾道市IP・家族・中役所・商工会議所  
警察署 長江中・北高・南高・久保小  
御田小・美子小

**課題の設定** 人口減少が大きな課題

~~増加!!~~  
尾道は人口減少が  
進む傾向にある

別の方法で解決  
するしかない!

尾道がこれから続く  
取組を考えよう!!

**情報収集** (禁止) → **他のグループとアドバイス**  
・伝え方について(国語)  
・内容について(総合)

**整理分析**

**まとめ** 先生方からアドバイスをいただく  
・内容について(総合)

自分たちが考えた取組を提案しよう!  
校長先生 市長 市役所の方  
地域の方々 具足庵

単元途中に修正された計画

# 実践Ⅲ 「長江中学校区 生活科・総合的な学習の時間 カリキュラムレコード」の活用

学年	1学期	2学期	3学期	4学期	5学期	6学期
令和5年度 2023年度 入学						
令和4年度 2022年度 入学						
令和3年度 2021年度 入学						
令和2年度 2020年度 入学						
令和1年度 2019年度 入学						
平成31年度 2019年度 入学						
平成30年度 2018年度 入学						
平成29年度 2017年度 入学						

・太枠で囲まれた部分が今年度の内容  
 ・横軸→同一集団の学習記録  
 ・縦軸→学年ごとの学習記録

縦の関連性（学年間の関連性）を意識するために、長江中学校区における「発達段階ごとの探究する姿」と各学年の「これまで探究課題や具体的にかかわった人・もの・こと」などを整理して記録

長江中学校区  
 生活科・総合的な学習の時間  
 カリキュラムレコード

○日本の伝統文化 ●日本の伝統文化とその継承に力をつくす人々 ・餅 ・しのぶ ・大島先生（大島能楽堂） ・加藤先生（妙宣寺） ○防災 ●防災のための町づくりや取組 ・ハザードマップ ・電通市役所 ・町内会 ・防災士 藤井さん	○町づくり ●地域の未来と自己の将来 ・防災・交通、道路の安全・きれいな町、環境 ・公民館長さん ・防災士 藤井さん ・交通指導 石岡さん 北風先生 ・警察署 上甲さん ・クリーンセンター ・市役所
---	---

# 実践Ⅲ 「長江中学校区 生活科・総合的な学習の時間 カリキュラムレコード」の活用

学年で決められた題材に取り組むのではなく、それぞれの児童生徒の学習経験を関連付けて学習者主体の探究的な学びの創造をするために活用  
 次年度への引き継ぎ、持続可能な単元開発のためのツールとして活用

- 太枠で囲まれた部分が今年度の内容
- 横軸→同一集団の学習記録
- 縦軸→学年ごとの学習記録

学年で決められた題材に取り組むのではなく、それぞれの児童生徒の学習経験を関連付けて学習者主体の探究的な学びの創造をするために活用  
 次年度への引き継ぎ、持続可能な単元開発のためのツールとして活用

長江中学校区  
 生活科・総合的な学習の時間  
 カリキュラムレコード



# 実践Ⅳ 「長江中学校区PBLを意識した単元開発のポイント」 の整理と共有

探究的な学習の創造に向けて、PBL（Project Based Learning）についての  
共通認識を図る

□ 「答え（ひとつの解）のない問い」を扱う学習



レールの無い 予定調和ではない 協働性  
折り合いを付けながら

□ 実生活・実社会の課題を解決する学習



児童生徒にとって自分事 現実的 主体的

□ 社会へ還元する学習



学校外の他者とのかかわり 達成感  
自己有用感

# 実践Ⅳ 「長江中学校区PBLを意識した単元開発のポイント」 の整理と共有

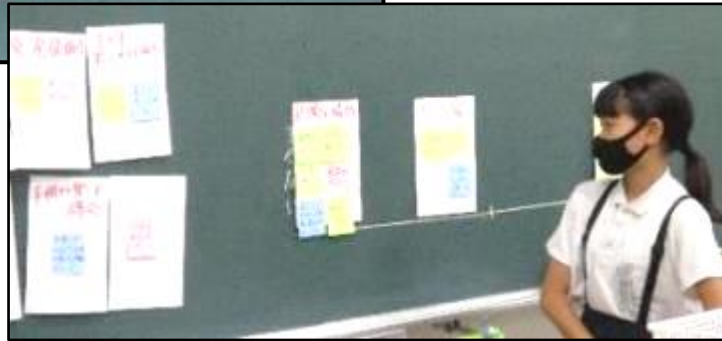
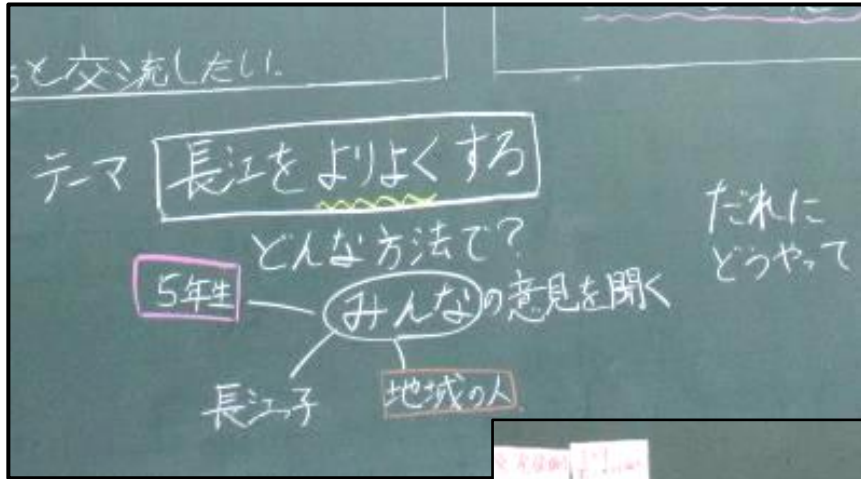
PBLについての共通認識をもとに、どの学年でも意識して授業づくりが出来るようにさらに具体的な「単元開発のポイント」を整理

## 単元開発のポイント

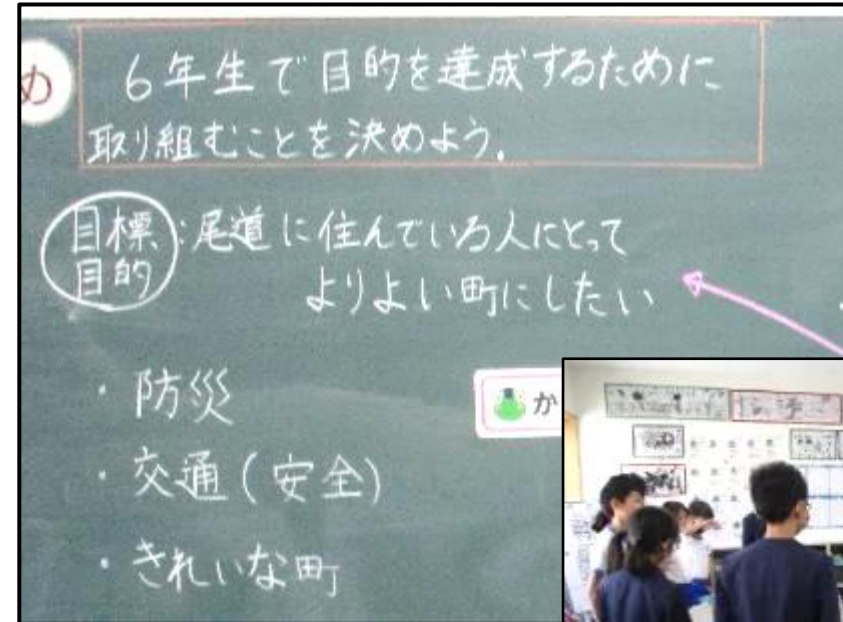
- ①児童生徒が自分事として考えることができるテーマの設定
- ②児童生徒と共有、調整していく単元計画の作成
- ③多様な視点、新しい課題に気付かせるショック  
(新たな「えっ!?!なぜ?」)の場面の設定
- ④多様な視点、考え方(実生活・実社会)に  
触れさせるための地域人材の活用

# 実践Ⅳ 「長江中学校区PBLを意識した単元開発のポイント」 の整理と共有

## ①児童生徒が自分事として考えることができるテーマの設定



自分達の思いと収集した地域の方々からの思いをもとに設定した5年生のテーマ  
「地域をよりよくするために長江のかかわりを増やそう」



これまでの学習内容や尾道市民の満足度調査をもとに設定した6年生のテーマ  
「尾道に住んでいる人にとってよりよい町にしたい～防災・交通安全・ゴミ問題～」

# 実践Ⅳ 「長江中学校区PBLを意識した単元開発のポイント」 の整理と共有

## ②児童生徒と共有、調整していく単元計画の作成

**太鼓で笑顔盛り上げ大作戦!!!!**

イベントで遊びをする (何のため?) **目的** →

- ① 地域の人々が元気になる・笑顔になるため。
- ② 地域の人同士がつながるため。

**課題の設定** 目的を達成するためにどのような遊びを企画し、どのように実行していくのか。

**情報の収集**

- 自分たちで遊びを考える。
- 地域の人にどのような遊びがあるか聞く。
- 地域の人にイベントがあることを伝える。

**整理・分析**

- 地域の人に聞いたことをもとにイベントの計画を立てる。
- 出し物を決める。  グループ分けをする。
- ルールを考える。  必要なものを作る。
- イベントのポスターを作る。
- イベント会場のそうじ準備に行く。
- プレイベントをして動画やアンケートを見て改善点を話し合おう。

**まとめ・表現**

- 改善点やよいところを見つけるために、プレイベントを閉こう。
- イベントで地域の方へ出し物(遊び)をする。

土堂小学校6年生の事例

3年生 「長江ステキマップ」 4年生 「文化財マップ」

**比べると**

(仮課題設定)

- 本当にあるのかは
- 何のためにあつたのか
- どうしてこんなに集まってるのか

(情報収集) 町探検に行こう!

↓  
管理している人  
と話を聞いてみる人  
にインタビューしたい!

本当に文化財があるのか  
何のためにあつたのか  
どうして集まってるのか  
分かんないよ...

中役所の方のお話を聞いてみよう!

分かったこと  
思ったこと

「文化財を守りたい!」  
「伝えるために」  
「守りたい」

4年生のゴール!!

「文化財を守るために」  
(もと) 多くの人に文化財について伝える!

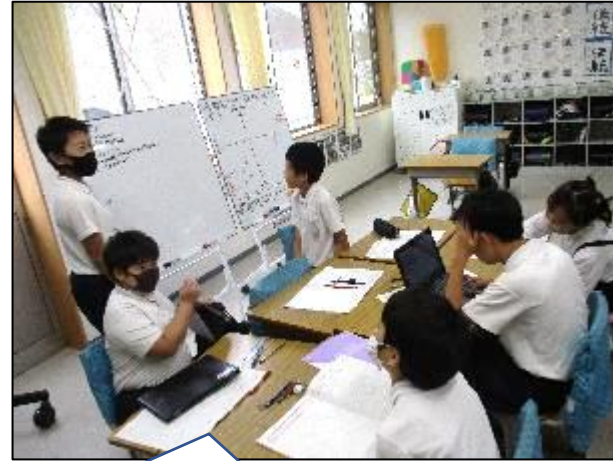
長江小学校4年生の事例

# 実践Ⅳ 「長江中学校区PBLを意識した単元開発のポイント」 の整理と共有

③多様な視点、新しい課題に気付かせるショック（新たな「えっ!?なぜ?」）の場面の設定



様々な立場の方が考えている尾道の課題



えっ!?なぜ?  
そんな考え方もあるんだ。  
そもそも、この方法で  
課題は解決できるかな?



大人の立場から見たアドバイス

長江小学校6年生の事例

# 実践Ⅳ 「長江中学校区PBLを意識した単元開発のポイント」 の整理と共有

## ④多様な視点、考え方（実生活・実社会）に触れさせるための地域人材の活用



地域、公民館、社会福祉協議会、市役所、警察署、文化財保護団体、防災士、校外補導員、地域の高校の方など

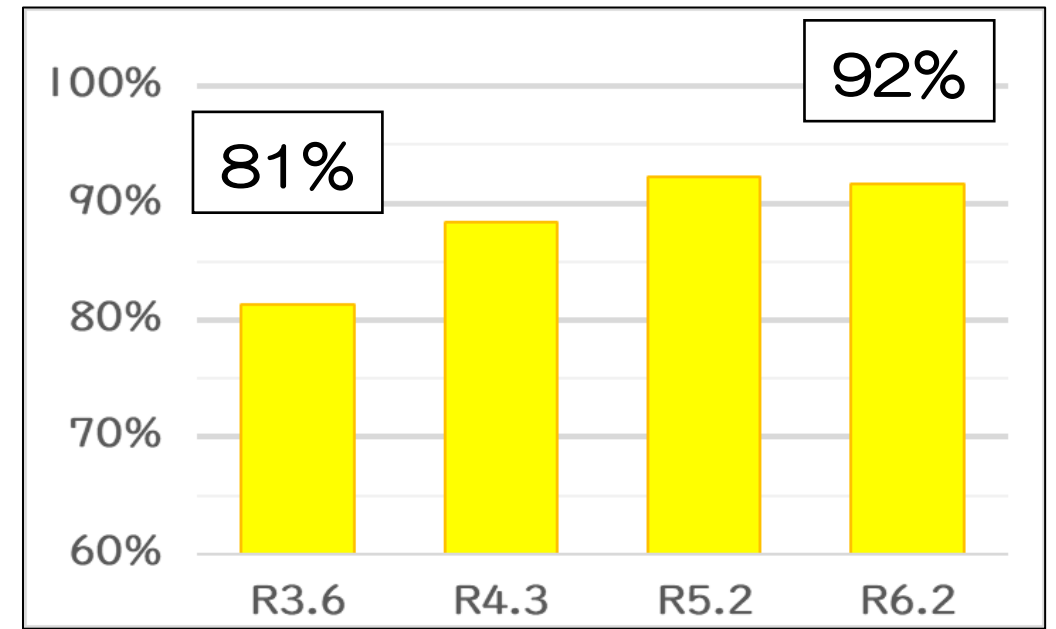
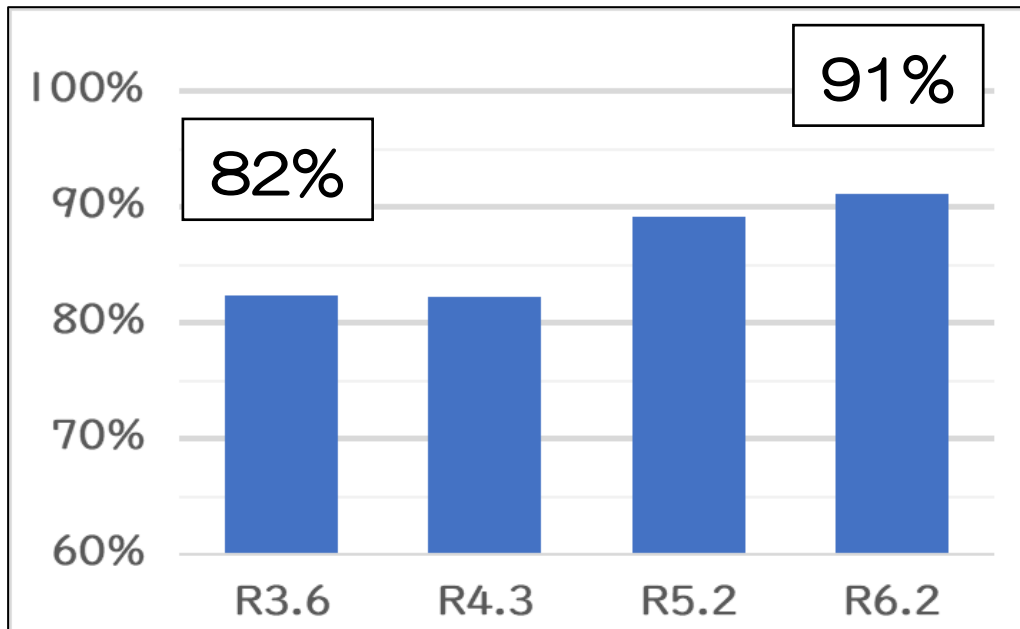


## 2. 研究の成果

# 長江中学校区児童生徒アンケートから

探究的な学習に取り組んでいる  
児童生徒の割合

資質・能力の高まりを自覚している  
児童生徒の割合



児童生徒が自分たちで考え出した課題を出発点に学習計画を作成し、それを確認しながら学習を進めたことによって、探究的な学習のイメージをもって学習に取り組むことができる児童生徒が増えている。

また、ルーブリックによって改めて身に付けたい資質・能力を定義し、学級で共有し、児童生徒が資質・能力を意識しながら学習を進めたことが資質・能力の高まりにもつながっている。



### 3. 今後に向けて

## 「長江中学校区カリキュラムレコード」の活用・意識化

他教科や他学年の学習の関連性を教師が意識するとともに、整理したカリキュラムレコードを児童生徒と共有し、児童生徒自身が意識して学習に取り組むことができるようにする。

## 児童生徒の自己変容の自覚・学びの良さの実感

探究的な学習がプロセスをなぞるだけの形式的な手順にならないよう、探究的な学習によって新しい見方・考え方が働いていることや自己の変容を自覚させることを通して、探究的な学習のよさを児童生徒自身が実感できるようにする。



ありがとうございました

